

環境学習会の報告

10月19日（月）、20日（火）、27日（火）の9時から11時までの3回、フォーマザー保育園、フォーマミー保育園、フォーマザー西立野保育園で、それぞれ90～120人の0歳から5歳までの園児さんを対象に、同じ内容で環境お話し会が開催されました。

最初は読み聞かせで、メラニー・ウォルシュ作 絵本「わたしがぼくが、ちきゅうのためにできる10のこと」を園児のみなさんに聞いてもらいました。「人のいない部屋の電気は消す」、「水道は流しっぱなしにしない」、「ゴミは分別して出す」など、子供たちは、絵本のページをめくるごとに、「何々ちゃんは」と自分の名前を呼んで、「水道は流しっぱなしにしない」と大きな声で、自分のこととして、絵本の10のことを体験しました。



休憩の後に、地球くんが登場。

園児からの「地球は何からできてるの?」、「人間は何からできてるの?」などの質問に地球くんが丁寧に答えていました。



その後、手作りおもちゃで、みんなで楽しく遊びました。



最初に、自然の木々のたねを使って遊びました。羽のついたイロハモミジのたね、ユリノキのたね、カエデのたねを高く投げ上げて、回転して落ちてくる様子を楽しみました。



羽のついたたね

きゃっきゃっ言いながら、たねがくるくる回転するのを見て大喜びする子どもたちの姿に、見ている私たち大人もほんわかした楽しい気持ちになりました。

第2弾は、牛乳パックの底でコマ作を作りました。



マジックで好きな絵をかき、中心にマッチ棒を差し込んで、親指と人差し指でクルリイ!!!女の子も男の子も夢中になって、コマ回しをしました。芯のマッチ棒が四角柱なので、小さい園児たちも力が芯に伝わり、簡単に回すことが出来たと好評でした。

最後は、牛乳パックと輪ゴムで作ったパッチンです。手を放すとバッタのように牛乳パックが飛び跳ねます。指をずらしたとたん、すごい勢いで頭の上まで跳び上がった時の子どもたちのビックリした瞳と、その後の満面の笑顔は最高でした。何回も何回も繰り返し挑戦していました。



牛乳パックは園が保護者から集めて、先生方がすぐ使えるように切っておいてくださいました。楽しいあつという間の2時間で、最後に、ススキで作ったフクロウを園児にプレゼントし、「みんなで地球を守ろうエイエイオー」と掛け声をかけて、環境お話し会を終了しました。

フォーマザー保育園、フォーマミー保育園の学習会は、川口市地球高温化防止活動推進センターのeco出前勉強会として開催しました。